

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	急性期重症患者・家族に対するケアに関する研究
研究責任者	聖隷浜松病院 渥美生弘
研究実施体制	聖隷浜松病院 移植検討委員会委員長 渥美生弘 聖隷浜松病院 臓器提供施設連携体制構築事業 協議会
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024年3月31日
対象者	聖隷浜松病院が拠点施設となっている臓器提供施設連携体制構築事業の連携施設において、70歳以下で急性期治療に反応せず器質的脳障害により深昏睡(GCS 3)となった症例。
研究の意義・目的	患者・家族ケアの質を向上していくために急性期重症患者の患者・家族ケアに関するレジストリシステムを構築する。急性期重症患者に対する患者・家族ケアの経験を蓄積し、施設内だけでなく多施設で共有する事により医療者のケア能力の改善だけでなく、各施設の患者・家族ケアのシステム改善につなげる。
研究の方法	<ul style="list-style-type: none">・ 前向き情報収集。本研究による介入は一切なく、通常の診療の他に追加されるものもない。・ 以下の情報を収集する: 患者背景(性別、生年月日、病名、慢性疾患の有無、入室の経路、手術の有無)、ICU在室中の情報(ICU入室後24時間の意識レベル、人工呼吸器装着の有無とその期間)、ICU在室期間および転帰、などの患者状態把握のために必要なデータを収集する。・ 以下の情報を収集する: 患者背景の聴取日時、病状説明に同席(患者・家族ケアを目的として)した日時、予後判定を目的とした多職種カンファレンスの開催日時、終末期である事を伝えた日時、臓器提供の情報提供をした日時、などの患者・家族ケアに関する情報を収集する。・ インフォームド・コンセントは取得しない。研究内容に関しては施設内に掲示し、情報公開する。・ 研究を遂行するにあたっての責任施設は聖隷浜松病院とする。集められた患者情報は厳重に管理され、年次報告などに使用される。いずれの場合も適切に匿名加工された情報を解析者に提供することで特定の個人が識別されないように配慮する。・ 調査対象期間は通年とする。・ 多施設のメンバーで各病院の患者・家族ケアの状況、システムを協議して、患者家族ケアの質の改善を目指す。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部

	に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	<p>聖隷浜松病院 医療福祉相談室 事務局 井上/金原 移植検討委員会委員長 渥美生弘</p> <p>TEL:053-474-2222(代表) 医療福祉相談室 9:00~17:00 平日</p>